



令和元年 7 月 10 日  
九州地方整備局

### 令和元年 6 月末からの梅雨前線における出水について（第 1 報）

#### 【大淀川水系、肝属川水系】

○九州内 20 の一級水系のうち、2 水系で氾濫危険水位を超過しました。

令和元年 6 月末からの梅雨前線における出水により、氾濫危険水位を超過した大淀川水系、肝属川水系の雨量や水位の情報、被害の状況等についてとりまとめました。

今回の出水では、九州内 20 の一級水系のうち、2 水系で氾濫危険水位を超過しました。

全国で初となる、福岡管区气象台との合同記者会見を実施し、出水への警戒を迅速かつ広範囲に呼びかけました。

引き続き、今回の出水及び今後の出水に対して、全力で取り組んで参ります。

【問い合わせ先】国土交通省 九州地方整備局 河川部

河川計画課長 こばやし ゆう 小林 侑 （内線：3611）

建設専門官 たかしま つねよし 高島 恒善 （内線：3616）

電話：092-471-6331（代表）

※本資料の数値は、速報値及び暫定値であるため、今後の調査で変わる可能性があります

## 令和元年6月末からの梅雨前線における出水の概要と対応(第1報)

※本資料の数値は、速報値及び暫定値であるため、今後の調査で変わる可能性があります

### 1. 出水状況

おおよど きもつき  
大淀川、肝属川の 2 水系で、氾濫危険水位を超過。

#### ○ 氾濫危険水位超過 2 河川 2 地点

大淀川水系 : 大淀川(岳下)

肝属川水系 : 肝属川(豊栄)

### 2. ホットラインの実施

5 水系に関して 39 回のホットラインを実施。

緑川水系 1 回、球磨川水系 16 回、大淀川水系 12 回、川内川水系 6 回、  
肝属川水系 4 回

【ホットライン】河川事務所長から市町村長に対して河川の情報を直接提供する仕組み

### 3. 緊急速報メールを活用した洪水情報のプッシュ型配信

2 水系で計 2 回の洪水情報のプッシュ型配信を実施。

大淀川水系 : 大淀川(岳下)

肝属川水系 : 肝属川(豊栄)

【洪水情報】指定河川洪水予報の氾濫危険情報(レベル4)及び氾濫発生情報(レベル5)の発表を契機として、住民の主体的な避難を促進するために配信する情報

【プッシュ型配信】受信者側が要求しなくても発信者側から情報が配信される仕組み

### 4. 主な施設被害

< 県管理区間 >

○ 緑川水系木山川(熊本県管理区間) 堤防一部欠損

(位置 17k/800 付近左岸、延長約30m)

→ 緊急復旧工事完了

○大里川水系大里川<sup>おおさとがわ</sup>(鹿児島県管理区間)堤防決壊  
(位置 2k600 付近右岸、延長約50m)  
→緊急復旧工事完了

○大里川水系大里川<sup>おおさとがわ</sup>(鹿児島県管理区間)堤防決壊  
(位置 3k800 付近右岸、延長約50m)  
→緊急復旧工事完了

○大浦川水系大王川<sup>だいおうがわ</sup>(鹿児島県管理区間)堤防決壊  
(位置 1k000 付近右岸、延長約20m)  
→緊急復旧工事完了

## 5. 主な一般被害

### ○宮崎県

宮崎市	1 棟 (床下 1)
都城市	74 棟 (床上 13、床下 61)

### ○鹿児島県

鹿児島市	2 棟 (床上 1、床下 1)
鹿屋市	92 棟 (床上 13、床下 79)
垂水市	1 棟 (床下 1)
日置市	10 棟 (床上 2、床下 8)
霧島市	111 棟 (床上 26、床下 85)
いちき串木野市	104 棟 (床上 22、床下 82)
南さつま市	6 棟 (床上 2、床下 4)
始良市	3 棟 (床上 1、床下 2)

※ 出典 宮崎県資料「令和元年6月30日(日)からの大雨による被害状況について」(7/5 18:00)

※ 出典 鹿児島県資料「令和元年6月末からの大雨による被害状況」(7/9 13:00)

# 令和元年6月末からの梅雨前線における出水について

## 【第1報】

九州地方整備局  
令和元年7月10日

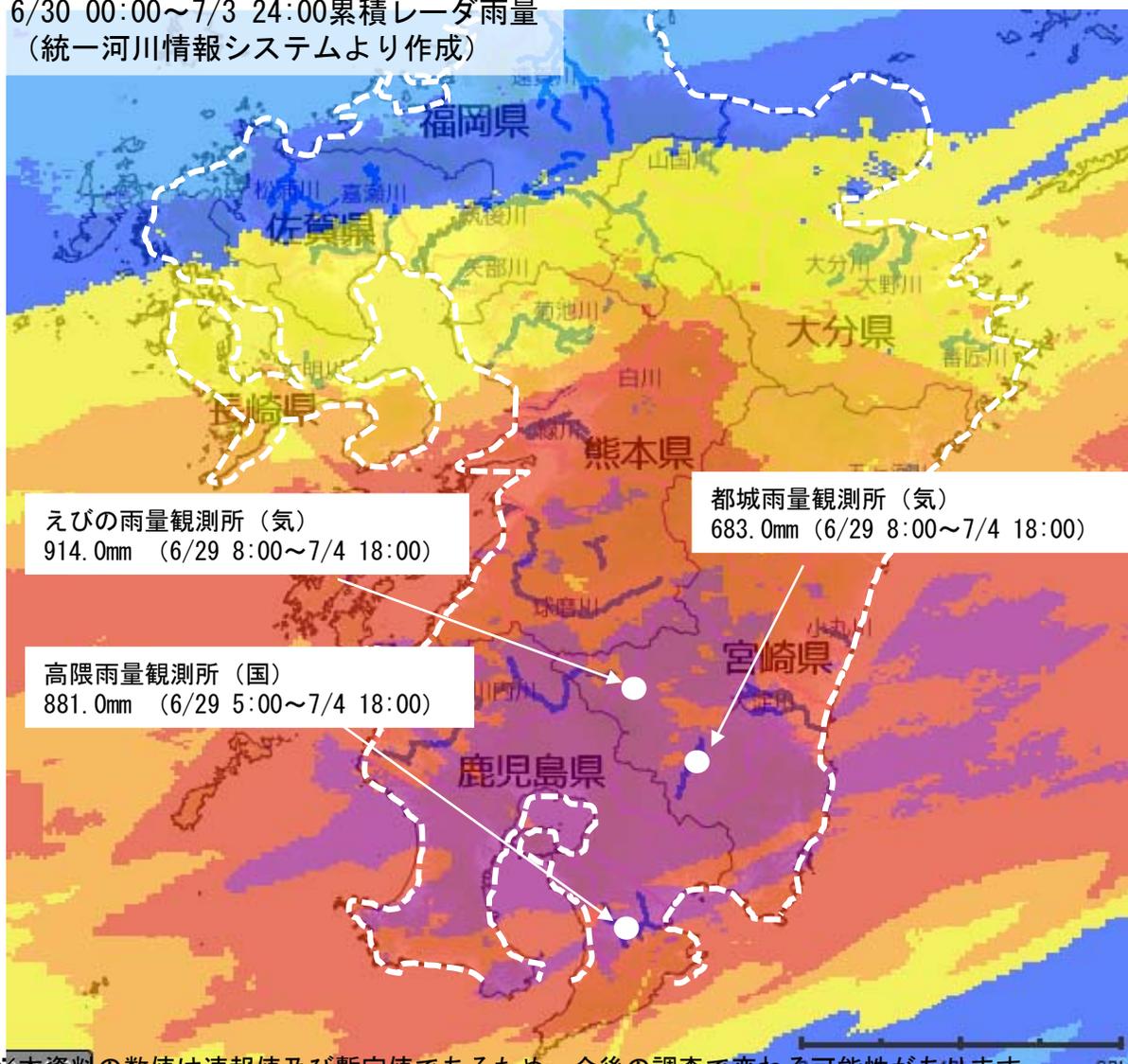
# 目 次

1. 気象・降雨の概要	1～
2. 九州地方整備局管内の直轄管理河川の状況	2～
3. 雨量の概要	3～
4. 水位の概要	5～
5. 出水状況写真	9～
6. ホットライン実施状況	10～
7. 緊急速報メール配信状況	11～
8. 気象台と九州地整の合同記者会見	12～
9. 治水事業の効果	13～

# 1. 気象・降雨の概要

○6月30日（土）から、梅雨前線の活発な活動により九州の広範囲に強い雨域がかかり、**宮崎県、鹿児島県を中心に大雨**となりました。

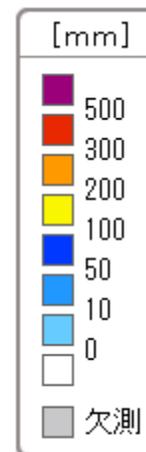
6/30 00:00~7/3 24:00累積レーダ雨量  
(統一河川情報システムより作成)



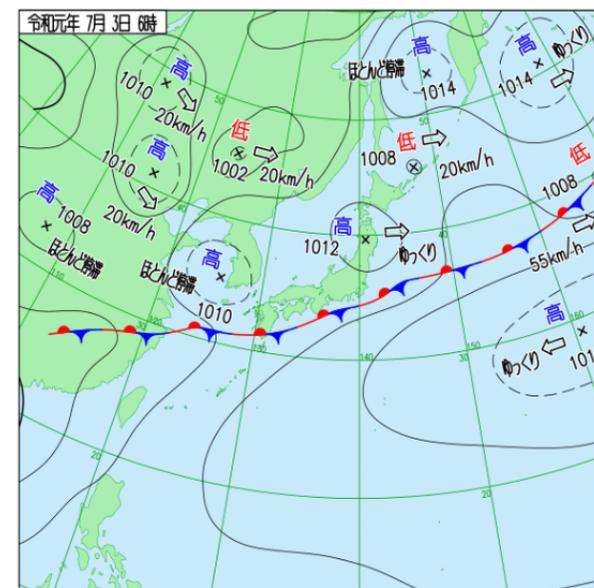
えびの雨量観測所（気）  
914.0mm (6/29 8:00~7/4 18:00)

都城雨量観測所（気）  
683.0mm (6/29 8:00~7/4 18:00)

高隈雨量観測所（国）  
881.0mm (6/29 5:00~7/4 18:00)



天気図（7月3日6時頃、気象庁HPより）



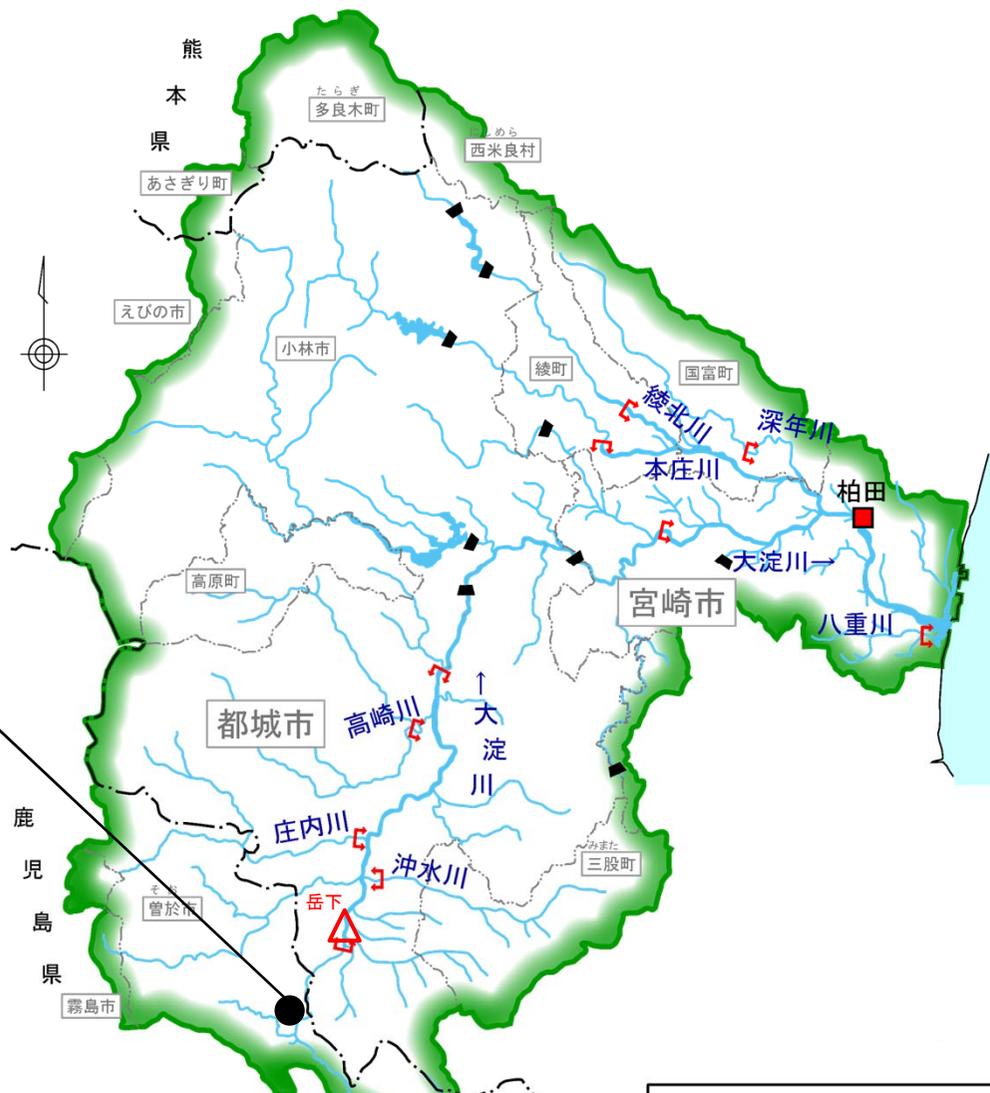
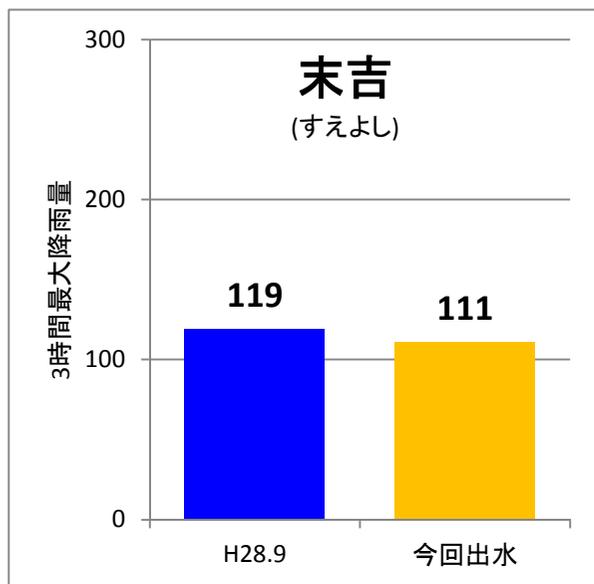
※本資料の数値は速報値及び暫定値であるため、今後の調査で変わる可能性があります。



### 3. 降雨の概要（大淀川流域の雨量）

大淀川流域の末吉雨量観測所において、近年の出水（H28）と同規模の3時間雨量を観測しました。

■流域内の特に雨量が多かった範囲における主な雨量観測所の雨量（単位：mm）



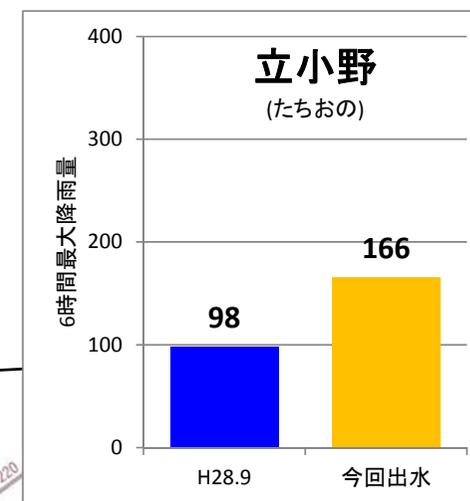
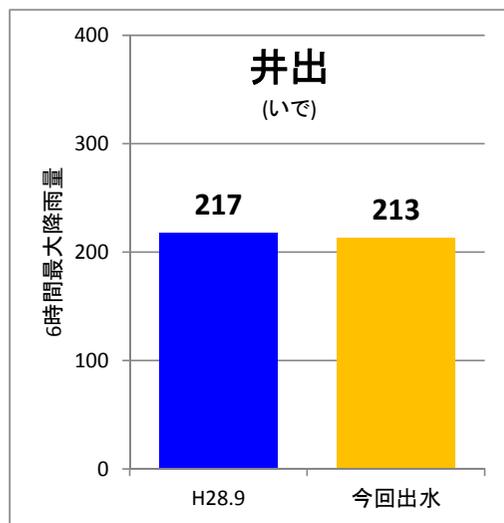
本資料の数値は、速報値及び暫定値であるため、今後の調査で変わる可能性があります。

△ 氾濫危険水位を超過した観測所

### 3. 降雨の概要（肝属川流域の雨量）

肝属川流域の井出雨量観測所、立小野雨量観測所において、近年の出水（H28）と同規模の6時間雨量を観測しました。

■ 流域内の特に雨量が多かった範囲における主な雨量観測所の雨量（単位：mm）



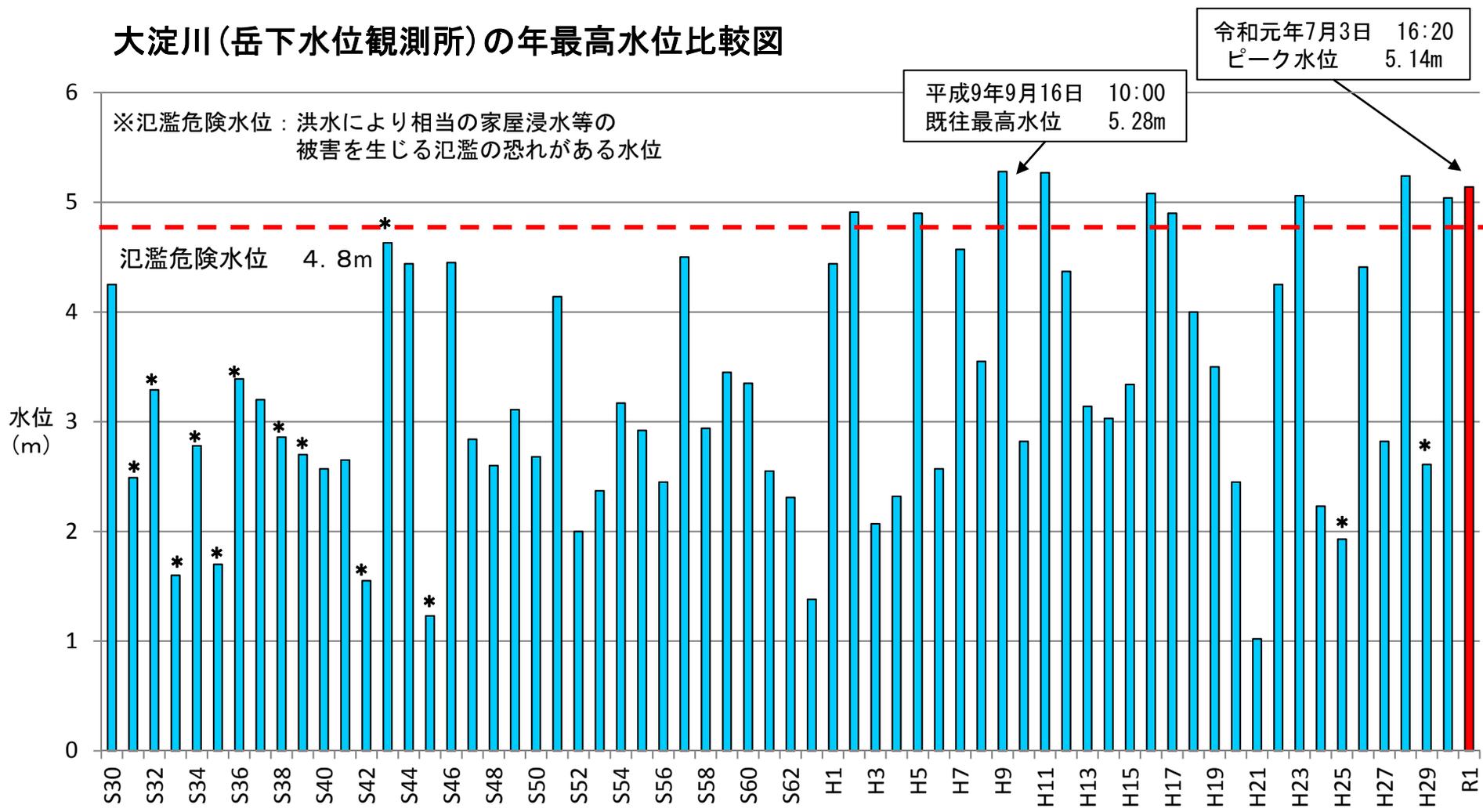
本資料の数値は、速報値及び暫定値であるため、今後の調査で変わる可能性があります。

△ 氾濫危険水位を超過した観測所

# 4. 水位の概要①-1 (大淀川水系大淀川)

大淀川水系大淀川の岳下水位観測所において、氾濫危険水位を超過し、7月3日16時20分にピーク水位5.14mを記録しました。

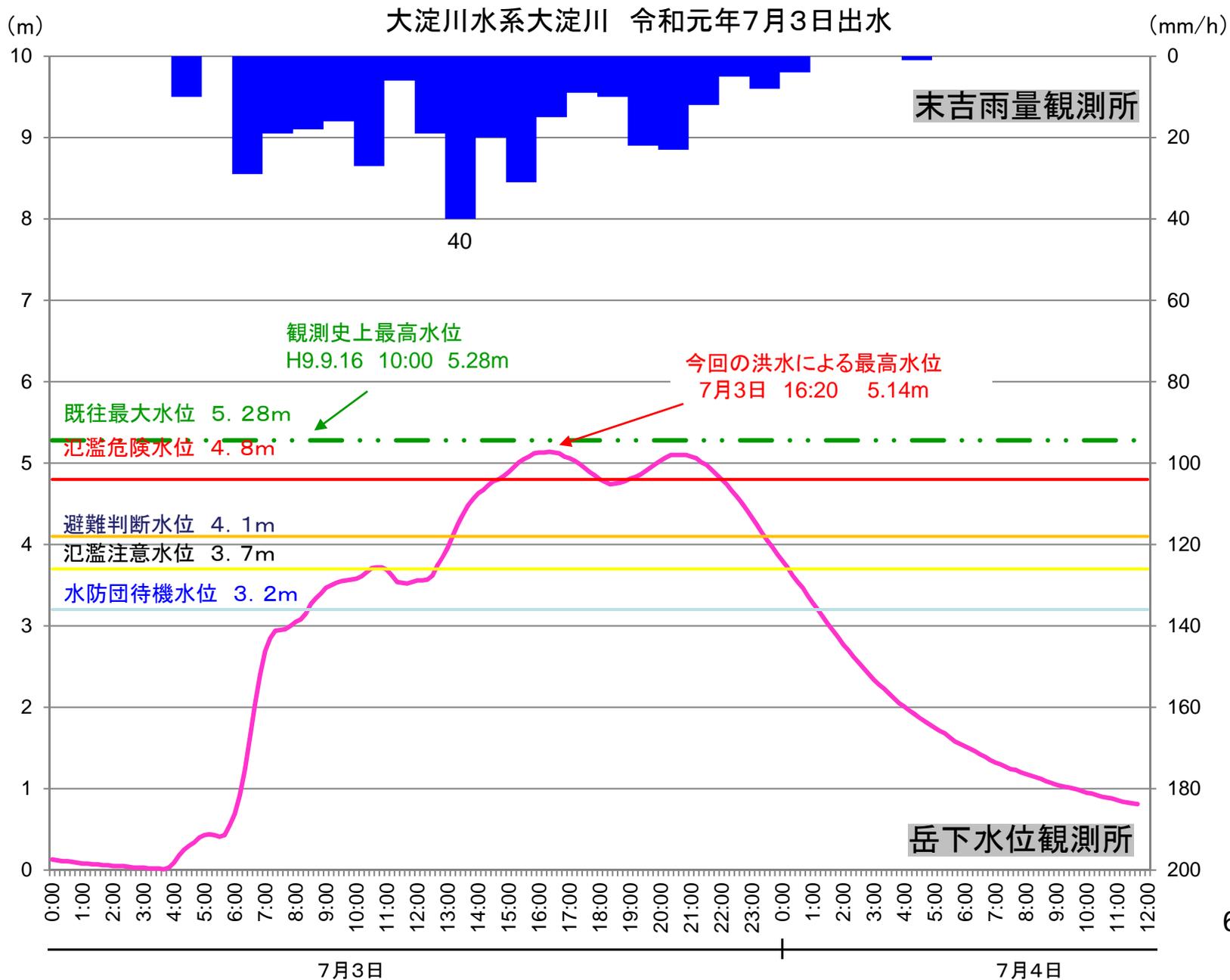
大淀川(岳下水位観測所)の年最高水位比較図



※本資料の数値は、速報値及び暫定値であるため、今後の調査で変わる可能性があります。

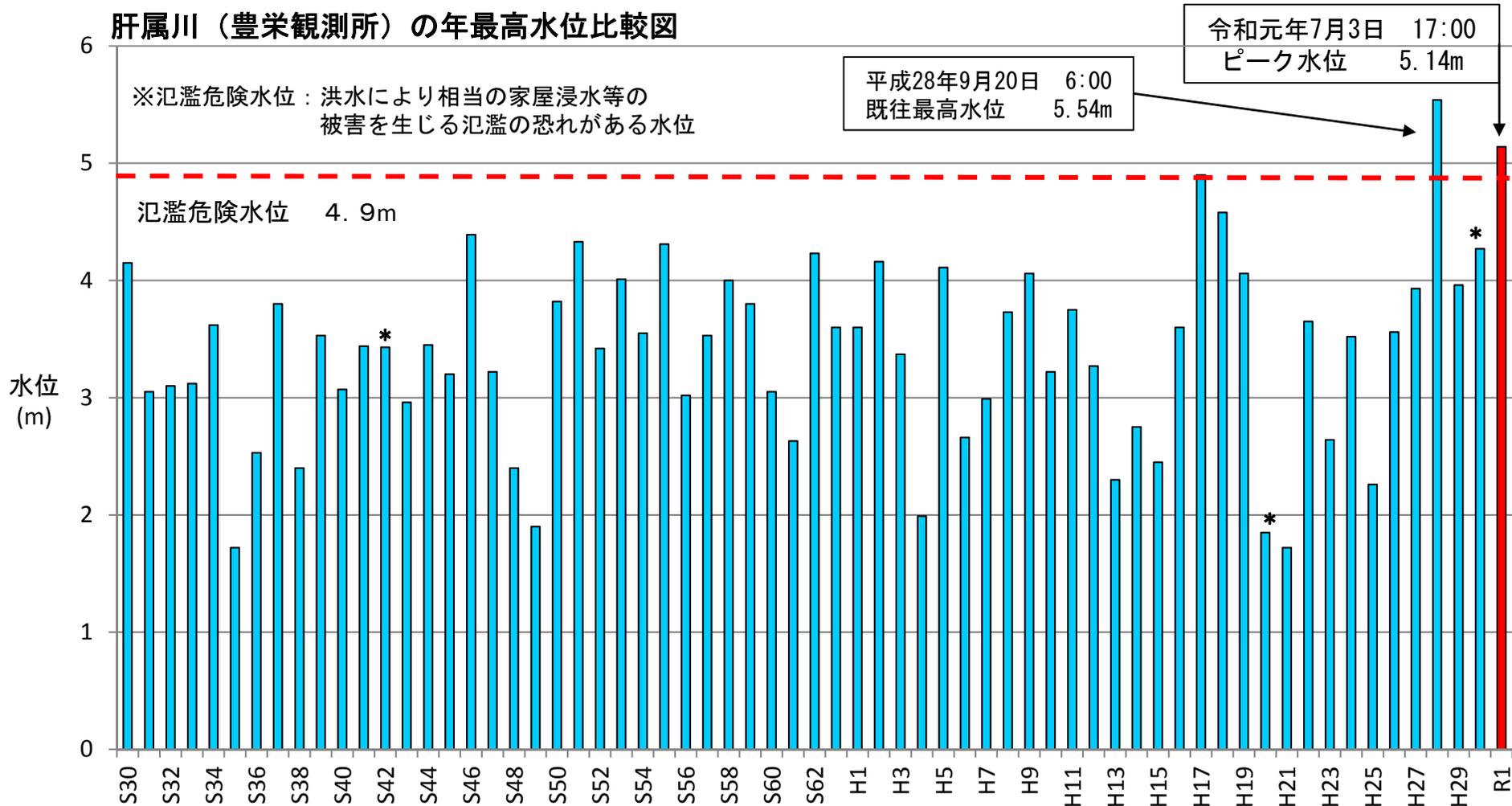
\*：水文観測データ統計処理要領より統計データでは欠測であるが、比較が可能なようにデータを補填

# 4. 水位の概要①-2 (大淀川水系大淀川)



## 4. 水位の概要②-1 (肝属川水系串良川)

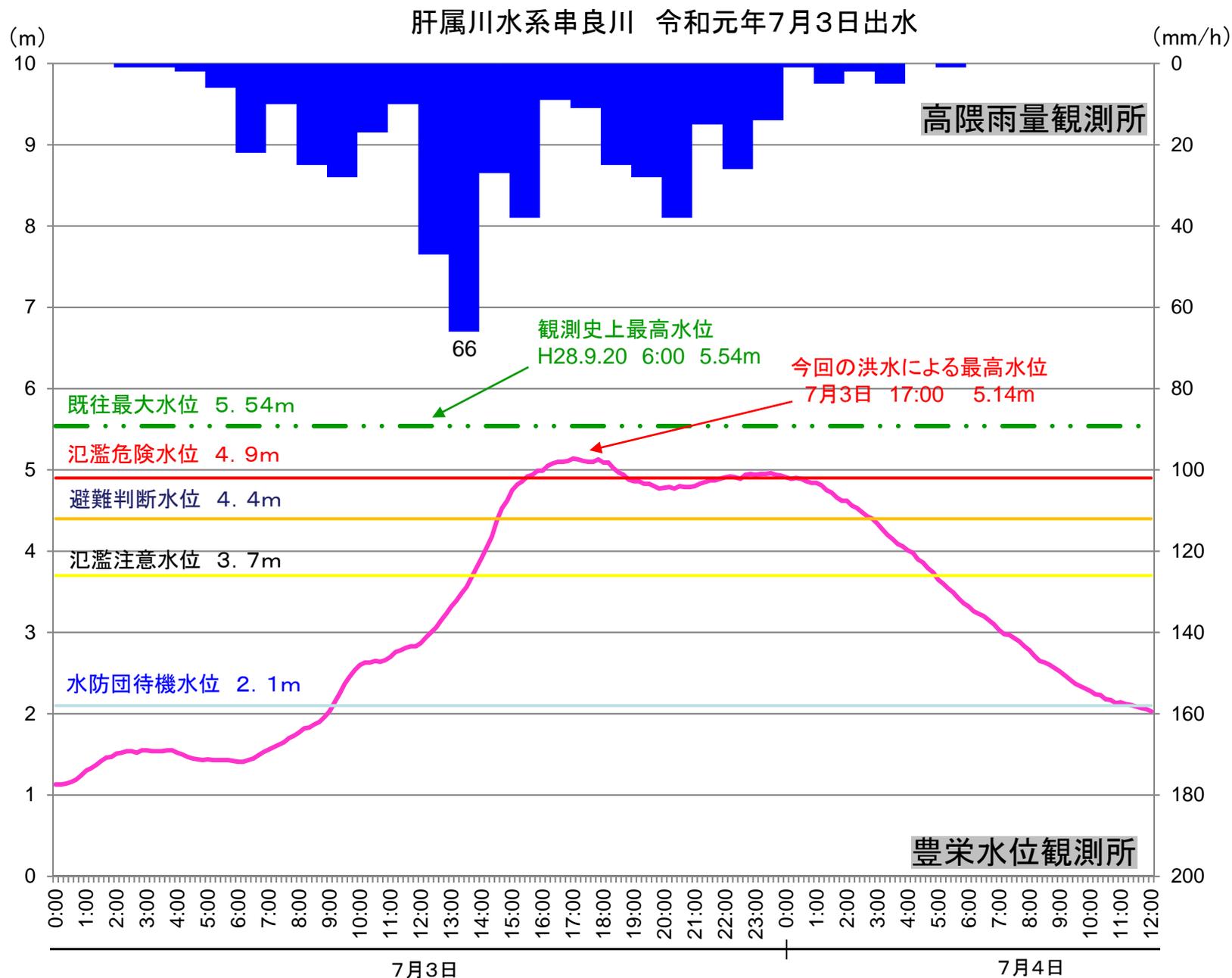
肝属川水系串良川の豊栄水位観測所において、氾濫危険水位を超過し、7月3日17時00分にピーク水位5.14mを記録しました。



※本資料の数値は、速報値及び暫定値であるため、今後の調査で変わる可能性があります。

\*：水文観測データ統計処理要領より統計データでは欠測であるが、比較が可能なようにデータを補填

# 4. 水位の概要②-2 (肝属川水系串良川)



# 5. 出水状況写真

【 大淀川水系 】



【 肝属川水系 】



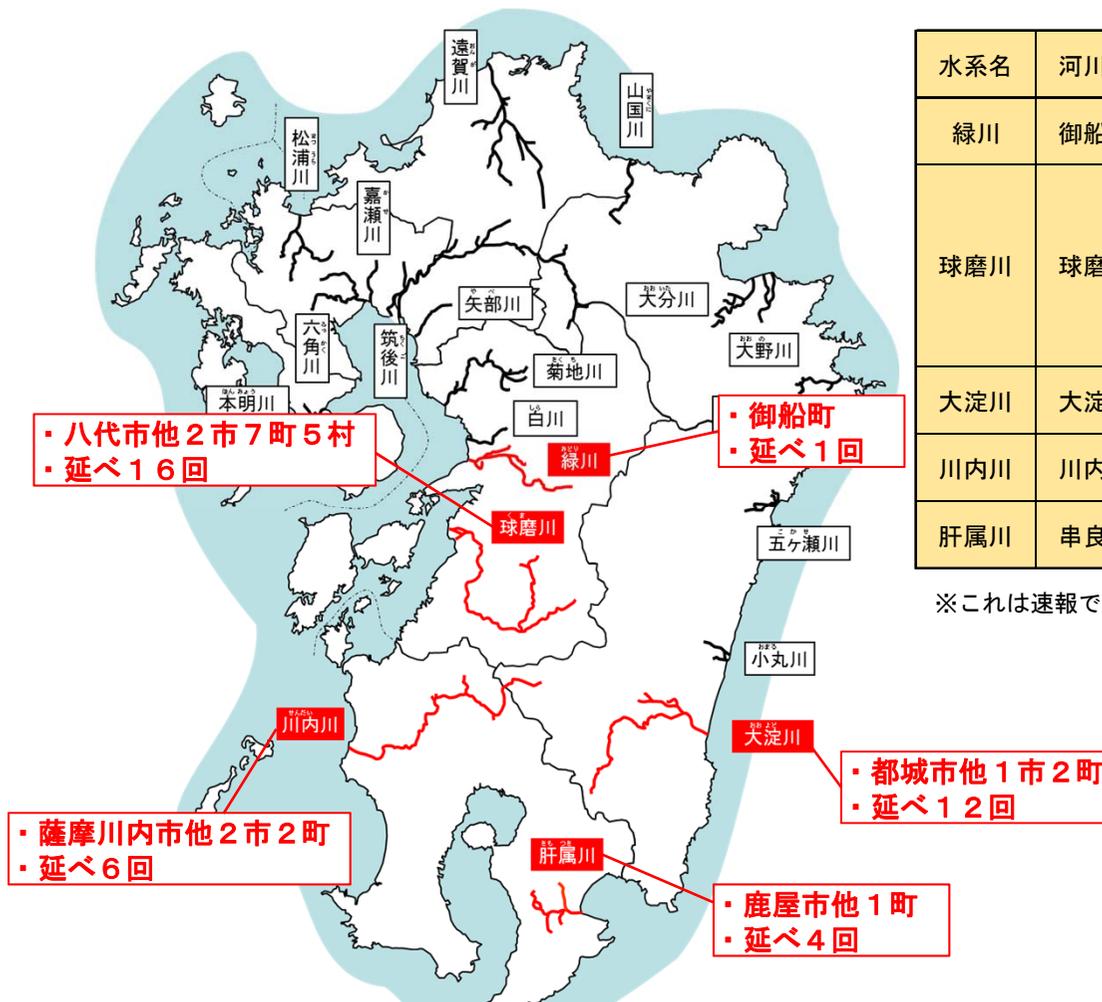
## 自治体の防災対応に資するきめ細やかな情報を流域首長へ提供

○九州の国が管理している20水系のうち、今回の出水で特に水位上昇が大きかった5水系において河川関係事務所長等から関係市町村長等(9市13町5村)に対し、ホットラインを延べ39回実施しました。

ホットライン実施市町村

水系名	河川名	実施回数	市町村名				
緑川	御船川	1	御船町				
球磨川	球磨川	16	八代市	人吉市	芦北町	錦町	あさぎり町
			湯前町	水上村	相良村	五木村	山江村
			水俣市	津奈木町	氷川町	多良木町	球磨村
大淀川	大淀川	12	都城市	宮崎市	国富町	綾町	
川内川	川内川	6	薩摩川内市	さつま町	伊佐市	湧水町	えびの市
肝属川	串良川	4	鹿屋市	東串良町			

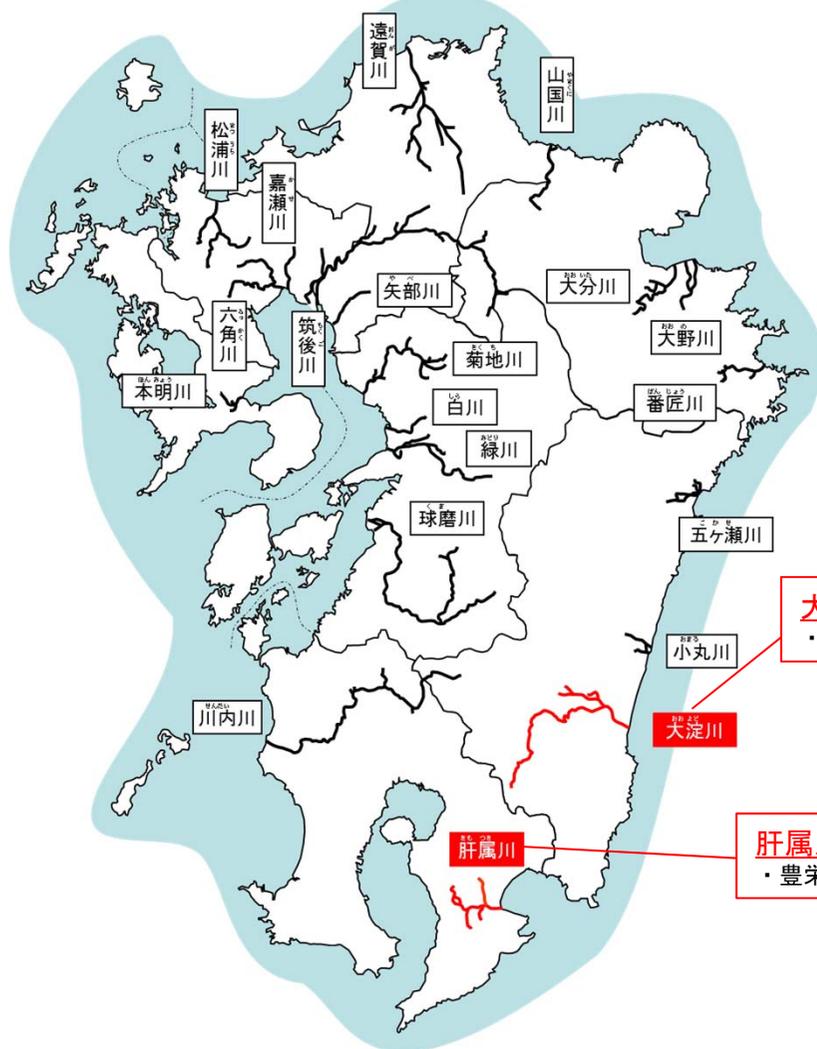
※これは速報であり、回数は今後変わることもあります。



## 7. 緊急速報メール配信状況

# 住民避難のため差し迫った河川情報をダイレクトにメール配信

○九州の国が管理している2水系において「河川氾濫のおそれがある(氾濫危険水位を超えた)情報」を計2回配信しました。



実際の緊急速報メール受信画面  
※事例：肝属川水系串良川（豊栄水位観測所）

受信メール

07/03/2019 午後3:54

河川氾濫のおそれ  
警戒レベル4相当

こちらは国土交通省九州地方整備局です

内容：串良川の豊栄（東串良町池之原豊栄）付近で水位が上昇し、避難勧告等の目安となる氾濫危険水位に到達しました

行動要請：防災無線、テレビ等で自治体の情報を確認し、各自安全確保を図るなど適切な防災行動をとってください

本通知は、浸水のおそれのある市町村に配信しており、対象地域周辺でも受信する場合があります  
(国土交通省)

## 8. 気象台と九州地整の合同記者会見

- 福岡管区気象台と九州地方整備局が共同で警戒を呼びかける記者会見を実施（6/28及び7/2）
- 6月28日の会見直後、在福6テレビ局すべてが17～18時台のニュースで会見内容を放送し、翌朝の朝刊でも新聞報道（2社）がなされ、迅速かつ広範囲の注意喚起を実現

記者会見における説明状況



テレビ報道（FBS福岡放送）



会見当日の各者の報道時間

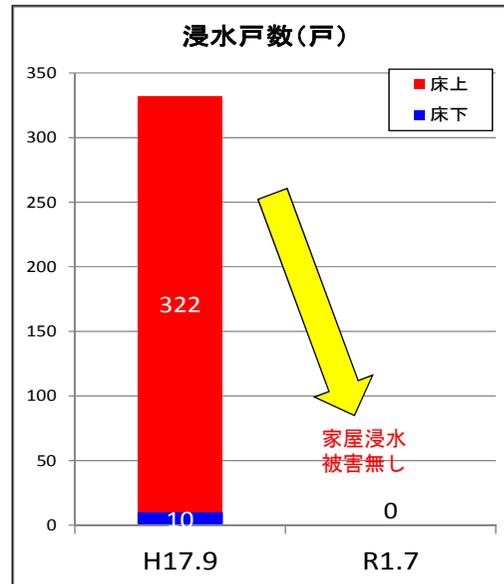
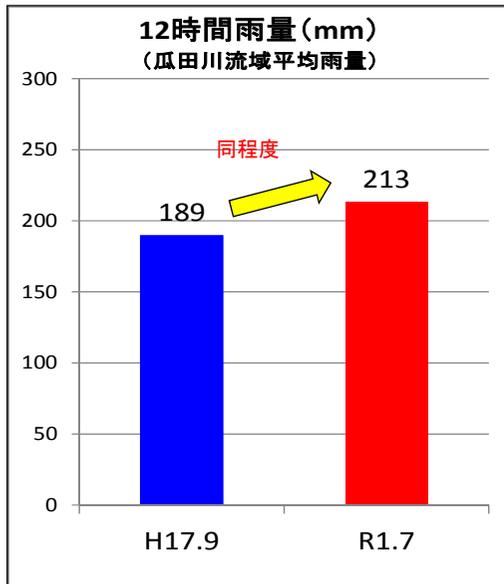
NHK	18:10～18:13
KBC	18:15～18:17
RKB	18:15～18:16
FBS	18:15～18:16
TVQ	17:42～17:43
TNC	17:45～17:46

在福6社  
全てのテレビ局  
で報道

# 9. 治水事業の効果（大淀川水系 瓜田川）

## 平成17年9月洪水と同程度の降雨に対し、家屋等の浸水被害無し

- 平成17年度より、国・県において「大淀川水系激甚災害対策特別緊急事業」として、輪中堤の整備や排水機場の整備等を実施しました。
- 併せて、「防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策」として、大淀川本川では樹木伐採を実施するとともに、排水ポンプ車の支援を実施しました。
- 国・県が一体となった河川整備を実施する事により、今次洪水では家屋等の浸水被害を防止しました。



大淀川本川における樹木伐採実施状況

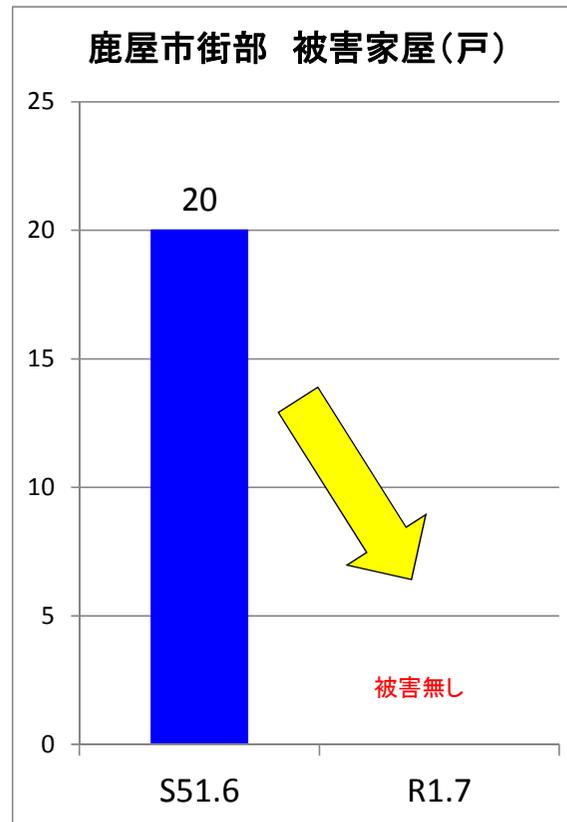
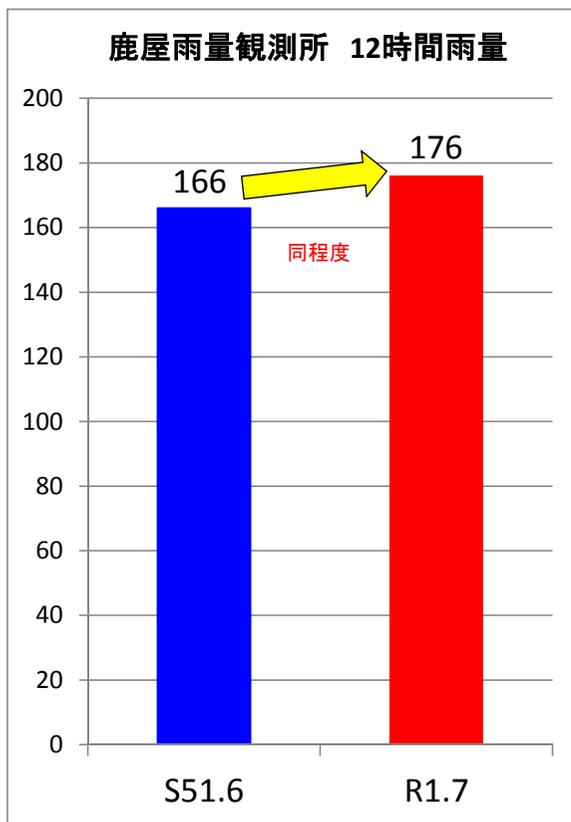


瓜田川排水機場

# 9. 治水事業の効果 (肝属川水系 鹿屋分水路)

## 昭和51年6月洪水と同程度の降雨に対し、家屋等の浸水被害無し

- 肝属川上流部の鹿屋市街部では、昭和51年6月洪水を受け、「鹿屋分水路」を整備しました。(平成12年3月完成)
  - 鹿屋分水路の整備により、朝日橋観測所にて約1.4mの水位を低減し、氾濫危険水位以下で安全に流下しました。
- ※氾濫危険水位とは、市区町村長が「避難勧告」(状況により「避難指示」)を発令する判断の目安とされる水位。



分水路入口部(平常時)



R1.7洪水の状況(鹿屋市街部)

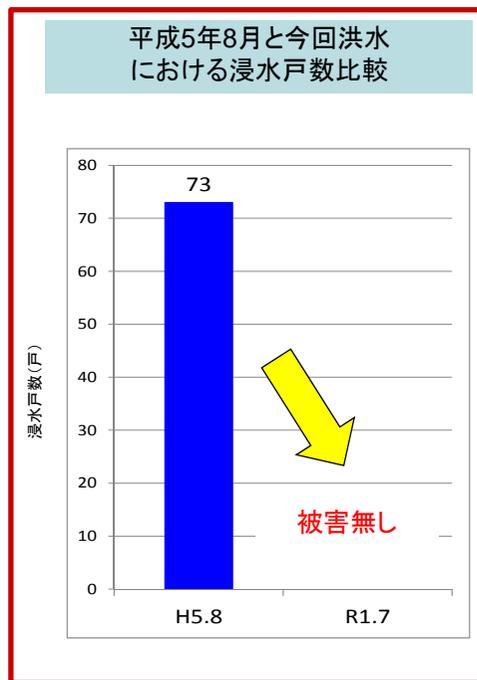
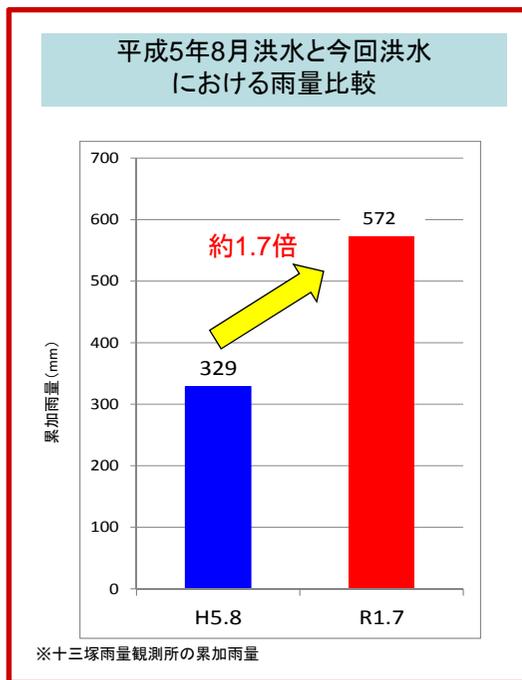
※数値は速報値であるため今後変わる可能性があります。

# 9. 治水事業の効果 (肝属川<sup>きもつき</sup> 甫木水門<sup>ほのき</sup>)

## 平成5年8月洪水の約1.7倍の降雨に対し、家屋等の浸水被害無し

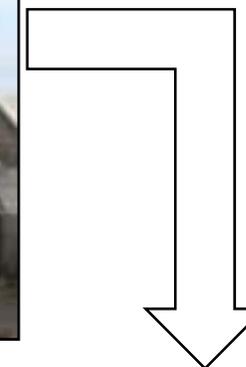
○肝属川中流の甫木川では、平成5年8月洪水を受け、鹿児島県による甫木川改修とあわせて、国で甫木水門の整備を実施しました。

○令和元年7月洪水では、十三塚<sup>じゅうさんづか</sup>雨量観測所にて平成5年8月洪水の約1.7倍の累加雨量を観測しましたが、甫木川沿川において家屋等の浸水被害は発生しませんでした。



改築前(流下能力45m<sup>3</sup>/s)

流下能力が  
約2.8倍に向上



新甫木水門平成26年度末完成

改築後(流下能力125m<sup>3</sup>/s)

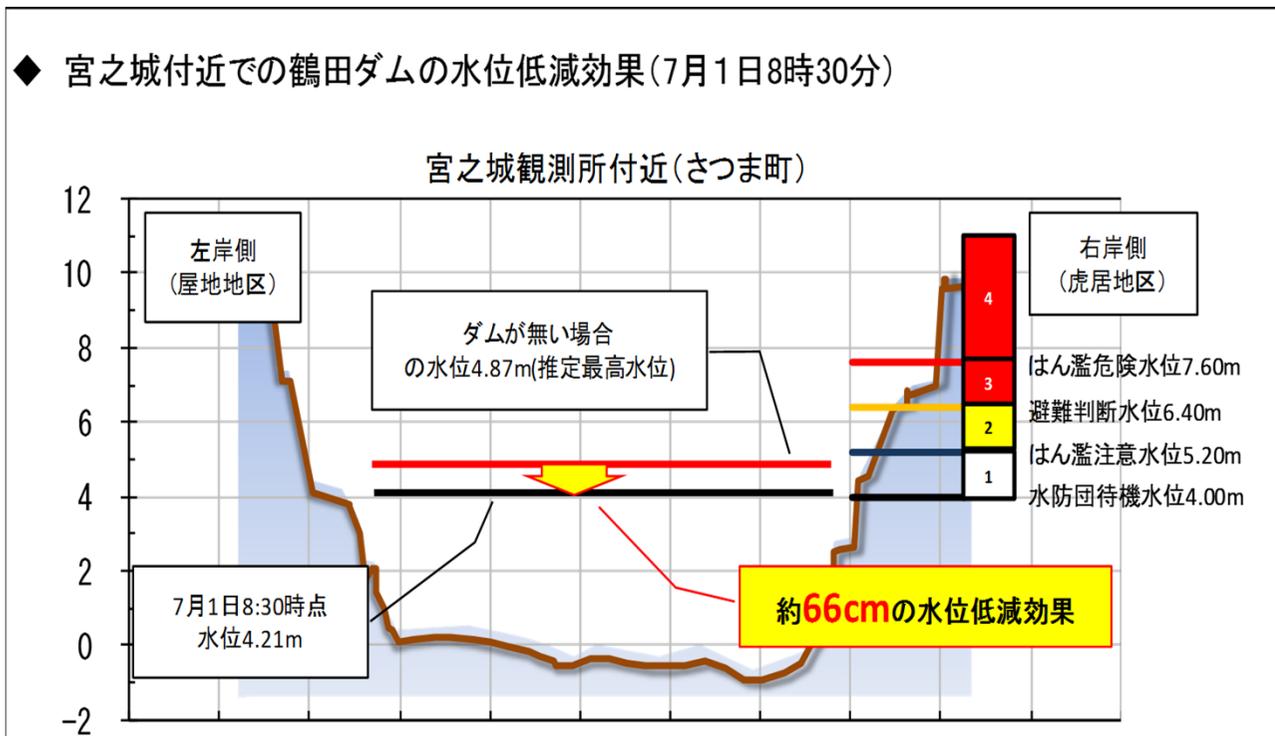
# 9. 治水事業の効果 (川内川水系 鶴田ダム)

## 鶴田ダム下流の宮之城地点で水位を約66cm低減

- 6月30日22時40分より防災操作を開始し、7月1日8時00分には381m<sup>3</sup>/秒をダムに貯留しました。
- 鶴田ダムが整備されていなければ、宮之城地点で水位が約66cm上昇していたと推定されます。

宮之城地点(さつま町)

宮之城地点位置図



※数値は速報値であるため今後変わる可能性があります。

# 参 考

# 【速報版】

## 大淀川水系の激特事業により、<sup>うりた</sup>瓜田川流域の浸水被害を大幅に低減

- 大淀川水系瓜田川では、平成17年台風14号の洪水で浸水家屋数約330戸の被害が発生。
- 平成17年度より、国・県において「大淀川水系激甚災害対策特別緊急事業」として、輪中堤の整備や排水機場の整備等を実施。
- 併せて、「防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策」として、大淀川本川では樹木伐採を実施するとともに、排水ポンプ車の支援を実施。
- 国・県が一体となった河川整備を実施する事により、**今次洪水では家屋等の浸水被害を防止。**

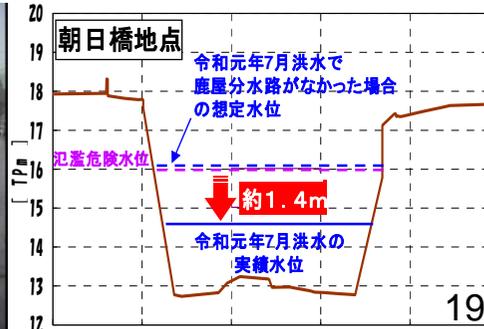
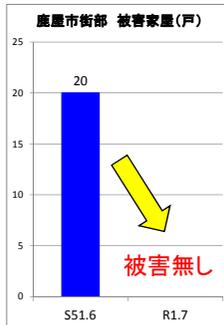
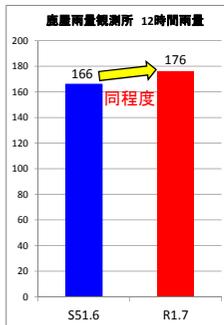


※本資料の数値は速報値であるため、今後の調査等で変わる可能性があります

# 【速報版】

# 肝属川の鹿屋分水路により、鹿屋市街部の水位を大幅に低減

- 肝属川上流の鹿屋市街部では、**昭和51年6月洪水により甚大な被害が発生したため、鹿屋市街部を分流する鹿屋分水路の整備を実施。(平成12年3月完成)**
  - 令和元年7月洪水では、鹿屋雨量観測所の12時間雨量において昭和51年6月洪水と同程度だったが、鹿屋分水路で約150m<sup>3</sup>/s分派したことにより、**朝日橋観測所にて約1.4mの水位を低減し、氾濫危険水位以下で安全に流下。**
- ※氾濫危険水位とは、市区町村長が「避難勧告」(状況により「避難指示」)を発令する判断の目安とされる水位。



※本資料の数値は速報値であるため、今後の調査等で変わる可能性があります。

# 【速報版】肝属川の河川整備により浸水被害が解消（<sup>ほのき</sup>甫木水門）

- 肝属川中流の甫木川では、平成5年8月洪水により甚大な被害が発生したため、<sup>ほのき</sup>鹿児島県による甫木川改修とあわせて、国で甫木水門の整備を実施。
- 令和元年7月洪水では、<sup>しゅうさんか</sup>十三塚雨量観測所にて平成5年8月洪水の約1.7倍の累加雨量を観測したが、<sup>ほのき</sup>甫木川沿川において家屋等の浸水被害は発生しなかった。

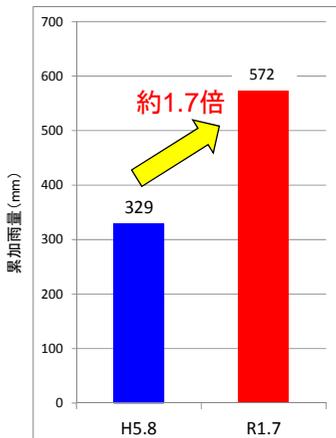
## ■ 甫木水門改築

<sup>ほのき</sup>鹿児島県による甫木川改修とあわせて、国で甫木水門の改築を実施し水門の流下能力は45m<sup>3</sup>/sから125m<sup>3</sup>/sに向上



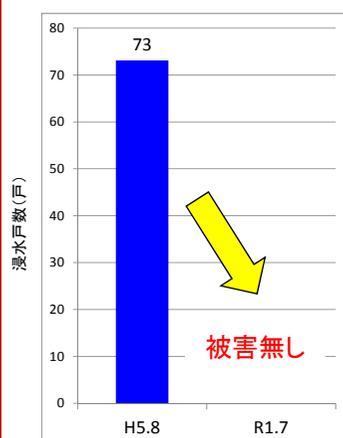
流下能力が  
約2.8倍  
に向上

平成5年8月洪水と今回洪水における雨量比較



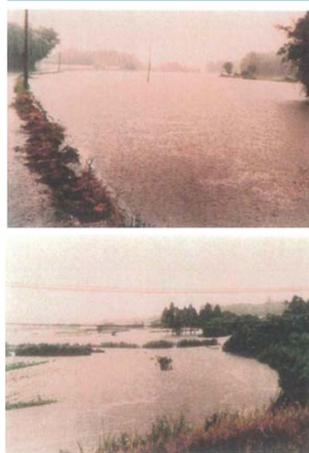
※十三塚雨量観測所の累加雨量

平成5年8月と今回洪水における浸水戸数比較



令和元年7月梅雨前線では浸水被害は発生しなかった。

平成5年8月洪水  
浸水被害状況



※本資料の数値は速報値であるため、今後の調査等で変わる可能性があります。

# 【速報版】 鶴田ダムにより、宮之城地点の水位を大幅に低減

- 梅雨前線に伴う豪雨により、ダム上流域において、567.9mm(6月29日7時～7月3日23時)の累加雨量を観測しました。
- 鶴田ダムでは、6月30日から7月3日までに防災操作を3回実施しました。
- 6月30日22時40分に2回目の防災操作を開始し、7月1日8時00分にはダムへの流入量が最大1,364m<sup>3</sup>/秒に達しダムに381m<sup>3</sup>/秒を貯留しました。
- 鶴田ダムが整備されていなければ、ダム下流の宮之城地点で水位が約66cm上昇していたと推定されます。

【鶴田ダム】



## ◆鶴田ダムの状況

約381m<sup>3</sup>/秒 (=①-②)  
少なくなって、流れていたと推測。

②下流の河川へ流した水量  
983m<sup>3</sup>/秒  
(7月1日8時00分時点)

鶴田ダム

①鶴田ダムへ流れてきた水量  
1,364m<sup>3</sup>/秒 (7月1日8時00分時点)

洪水貯留後貯水位 : 135.11m  
(7月1日22時50分時点) 約15.4m上昇

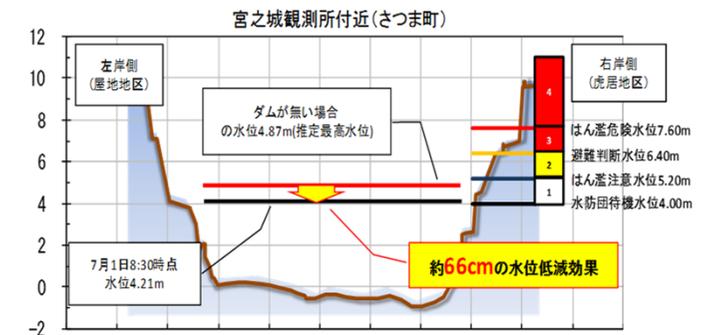
洪水貯留前貯水位 : 119.71m  
(6月30日22時40分時点)

約22,656千m<sup>3</sup>の水を貯め込んだ。  
これは25mプールの約62,900杯分です。

【放流状況 (7月1日 8:00)】



## ◆宮之城付近での鶴田ダムの水位低減効果(7月1日8時30分)



※数値は速報値であるため今後変わる可能性があります。